

萩市須佐地域

公民館だより

令和6年

10月

第615号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

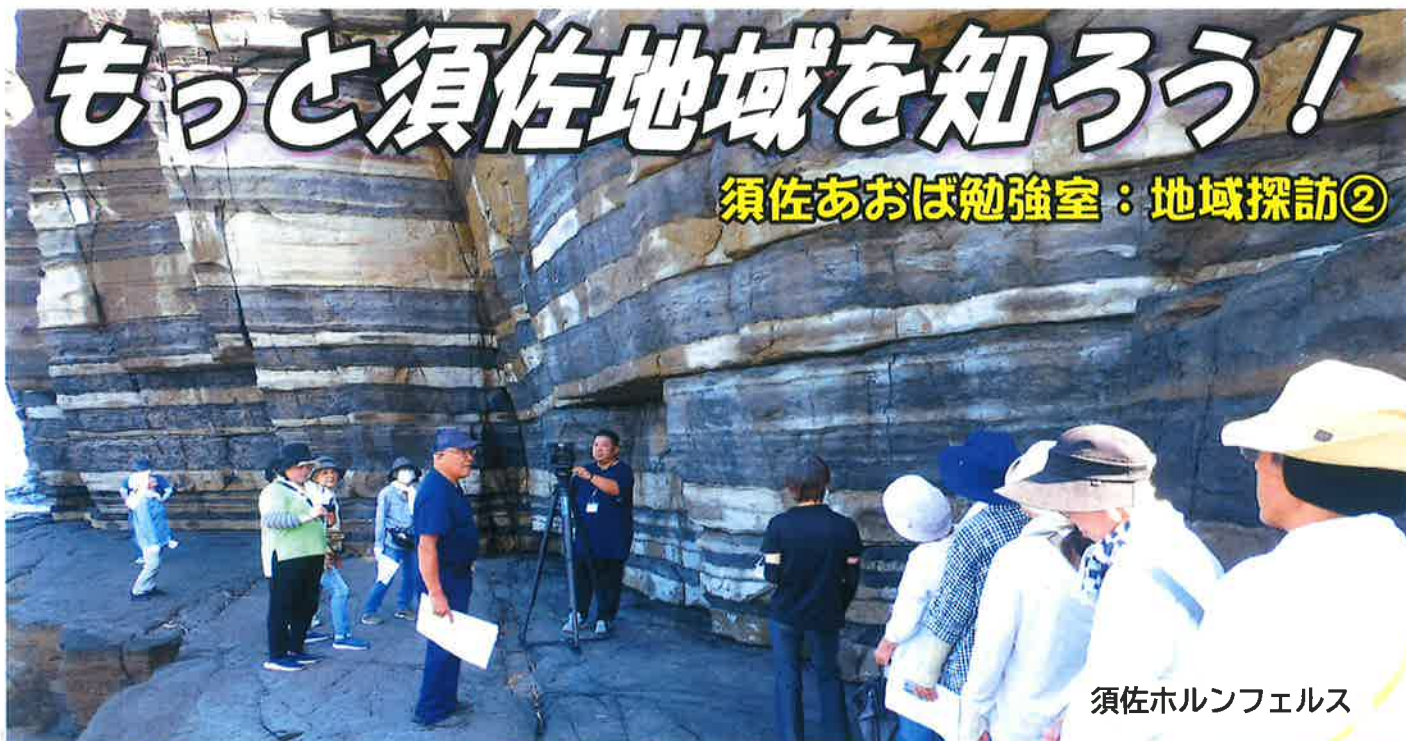
※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

もっと須佐地域を知ろう！

須佐あおば勉強室：地域探訪②



須佐ホルンフェルス



唐人墓（中央）



高山から眺める須佐湾

今月の話題

- 須佐の住民が地元の名勝を知る地域探訪・・・2P
- 須佐中2年生が須佐地域で職場体験！・・・5P
須佐公民館では取材と調理実習を体験！
- 地域トピックス・・・・・・・・・・・・・・6P
 - ・須佐地域敬老会開催
 - ・陸稲（おかぼ）栽培日記
- 須佐美術展開催予告・・・・・・・・・・・・6P
- まちの駐在さん：詐欺について・・・・・・10P

10月の花

「トウガラシ」



「絵手紙教室」から

～花ことば～

「綴友」「推身」
「嫉妬」「生命力」
「辛辣（しんらつ）」

辛辣は、元々は味が非常に辛いということであらわしていたが、現在は、言葉や表現が非常に厳しいということ。

須佐地域探訪②

地元住民が須佐地区を回る



須佐あおば勉強室

9月10日(火)、須佐地区の一般女性を対象としたあおば勉強室が開催され、第2回目の須佐地域探訪を行いました。

前回は、地区内を回りましたが、今回は地区外を車で回りました。

最初は、入江の湾内からスタートし、「久原波止場」へ行きました。

久原波止場は、須佐町の名誉町民でもある久

原房之助が、

父庄三郎の名で多額の費用を投じて造りました。

熊野鉾山(阿武台)

の鉾石運搬等にも大いに貢献し、

大きな船が出入りしたと言われています。

その数百メートル先には、「須佐

検潮所」があり、ここでは、日本海の潮の満ち引きを感知します。



大きな船が久原波止場に到着している様子

次は、二軒屋に行く途中の「唐人墓」へ行きました。(表紙写真)

享保11年(1726)8月7日、須佐湾に中国の船が漂着し、水や食料などを要求したが、当時は鎖国令が出ておりこれに応ずることができず、湾内から出ていくように指示したが、湾内に停泊したため、萩藩は益田家中とこの船を追い出そうと砲撃し、唐船もこれに応戦、最終的には自ら火を放ち焼没しました。

唐人墓は、この時の唐人の遺骸を葬ったが、その後、その地域に疫病などがはやり、唐人の祟りではないかと噂され、三界萬霊等の碑が建てられたと言われています。

参加者の中には、「ここ一帯が唐人墓かと思っていた」という人もいました。

唐人墓の次は、全国的にも有名な「須佐ホルンフェルス」へ行きました。

ホルンフェルスは、今から約500

万年前に、その層を突き破る高温のマグマが隆起し、その隆起と同時に周辺の地層も盛り上がり、その時、

ものすごい圧力と高熱で変成作用を受け熱変成岩という岩石に変化しました。

ホルンフェルスは、マグマの最も近い部分を接触変成岩と言います。

元々、層の白い部分は砂岩、黒い部分は泥岩でできていました。

ホルンフェルスの語源は、ドイツ語に由来し、ホルン＝角(つの)、

フェルス＝岩石、すなわち角石の意味となっています。



海苔石まで海底の亀裂がある…(遊歩道)

参加者は、おしゃべりしながら久しぶりに遊歩道を歩いてホルンフェルスまで行き、雄大な断層の見える下まで降りると「やっぱすごいねえ」

「迫力あるねえ」とすごいを連発していました。

そして次は「高山」です。高山まで歩いて…!は行きませんでした

が、車で上の駐車場まで行き、そこから歩いて頂上付近まで行きました。

それでも皆さん、はあはあと息を切らしながら磁石石のある所までたどり着きました。

磁石石は、石が大きく隆起しているところだけでなく、高山一帯に磁石石があるということを知り、「それは知らなかったあ」と驚いた人もいました。

また、高山は絶景の景色が見える場所でもあり、展望台ではなく、

大きい岩がせり出したところまで足を運ぶと、須佐地区の情景と須佐湾とが一体化したすばらしい景色が見えます。

時間や天候などによって見え方も違って見え、その日は少し霞がかってはいましたが、それでもきれいに見えました。

最後は、上三原にある「気象観測所」を見て公民館に帰りました。

参加者は、「来て良かった!」「次も行くから」と喜んでいました。

次回は、10月17日(木)弥富地区探訪です。多くの参加をお待ちしています。

方位磁石を使って磁気を調べる参加者

2



公民館学級

至誠館大学講座



ニュースポーツで 地域交流

弥富さつき学級

9月9日(月) 弥富交流促進センターで、至誠館大学公開講座をさつき学級も兼ねて行い、至誠館大学助教授の石立克己さんをお迎えして「ニュースポーツを通じた地域交流について」というテーマのもと、「モルック」を体験しました。

始めに、簡単に自己紹介をされた後、「モルック」とはどんな競技かを説明して頂きました。

「モルック」とは、フィンランドの伝統的なキョッカというゲームを元にして生まれたスポーツで、ピンを倒すところはボウリングに似ていますが、交互に投げて点数を競います。ルールは、スキットルと呼ばれる棒を決まった配置に立て、モルックと呼ばれる木の棒を投げ、スキットルを倒し、複数倒れた時は、倒れた本数が点数、1本しか倒れなかったときは、倒れたスキットルに書かれている数字が点数で、相手より先に獲得した点数が50点ピッタリになった方が勝ちです。(50点を超えてし

まった場合は25点に逆戻り、3回連続ミスしたチームは0点になり、ゲームオーバー)

ルール説明の後、早速2チームに分かれてゲームを開始!初めての「モルック」に、皆さん少し緊張気味の様子でしたが、実際にゲームをしてみると、思っていたよりも簡単で、「今度はあのスキットルを狙ったら?」と、仲間同士で教え合いながらゲームを進めていました。投げたたびに大歓声が上がリ、大変盛り上がっていました。

先生から「倒れたスキットルも仲間内で立てて、助け合いながら、しっかりコミュニケーションをとって楽しみましょう」と言われ皆さん声を掛け合いながら楽しまれていました。終了後、「楽しかったね」と皆さんモルックに興味津々の様子でした。ニュースポーツのモルックを知ることができ、とても充実した講座となりました。次回もたくさんのご参加をお待ちしております。



誰でもできるモルック

生き生き教室

クラブ活動紹介⑤

元気な高齢者を支援する「生き生き教室」では、いろんな活動を展開しています。このコーナーは、それぞれのクラブ活動に関わっている方の思いを活動内容とともに紹介していきます。

【音楽療法】

★活動日 毎月第4水曜日
13時30分～14時30分
場所 1階多目的室
講師 宮崎真理子さん



音楽療法は、「音楽」を通して五感をフル活用し、認知症予防やメンタルのケアや痛みの緩和ケアなどに取組まれており、デイサービスや教育現場など様々な場所で行われています。毎回いろいろな楽器を使って演奏や合奏もしています。昔懐かしの唄やクリスマスには、素敵なフルート・ピアノ・バイオリンの演奏もあります。普段の教室も元気いっぱい先生の指導で、参加者も元気を補充して帰ります。

♪講師の先生より♪

音楽療法は、聴くだけではなく、歌ったり音楽に合わせて身体を動かしたり、楽器を演奏したりして、自ら音楽を楽しみます。

また、みんなでやる事で音楽を通じて人と人が繋がります。ストレスを発散して心と身体を元気にします。

♪参加者から♪

●友達に誘われて、認知症予防にいいなと思い参加しています。太鼓を叩く時が一番気合が入ります。●もともとコーラスに通っていましたが、コーラスが解散する際に音楽療法のことを知り、参加するようになりました。歌うことが好きなので歌う場があつてうれしいです。

●毎月一回ではありますが、ここへきて歌ってしゃべって体を動かすことで気分もリフレッシュできていると感じています。難しいことはあまりないので、ぜひ多くの人に来てもらいたいです。

●友人に誘われて入りましたが、いまでは私も誘う側へと変わりました。太鼓を思いっきり叩くと気分もすっきりするので、毎回楽しんでいます。

皆さんも是非、参加してみませんか?

夏休みの思い出に…

弥富放課後子ども教室

8月26日（月）、弥富公民館放課後子ども教室の夏休み特別企画として、弥富地区小学生6名が徳山動物園を見学しました。



ゾウと一緒に記念写真

徳山動物園は平成25年度からリニューアルを行っており、動物たちとふれあえる「るんちやるんちや」、自然学習館「ねいちやる」、「ペンギンプール」、新ゾウエリアなどが新しくオープンしています。約100種500点の動物たちが飼育されており、わかりやすい解説パネルが設置されていて、学習しながら楽しむことができました。

新ゾウエリアでは、間近でゾウを観察でき、とても迫力がありました。

そのほかに、子ども達がとても興味を示したのが、徳山動物園で人気者のレッサーパンダです。ユニークなカラーにフワフワの毛並み、そして、かわいらしいお顔と仕草に見とれてしまいました。

動物園内で昼食休憩後、ふれあいルームでモルモットに触れながら餌



モルモットと楽しく触れ合う子ども達

やりの体験ができました。モルモットがプイプイと鳴きながら餌を食べる姿に子ども達も大喜びでした。

最後に、自然学習館でうちわづくりを体験しました。うちわに動物スタンプを押したり、色を塗ったりして、思い思いのうちわを完成させて、記念に持ち帰りました。

とても暑い一日でしたが、子ども達にとって、楽しい夏休みの思い出となりました。



「まいど！」
地域おこし協力隊の山本一貴です。今回は協力隊だから感じる事ができた「おもしろい」についてです。

それはラジオに出演するようになったことです。萩市の協力隊には月1回、第3金曜日にエフエム萩への出演が回ってきます。これまで普通に（？）生きていてラジオに出演するだなんて思ってもいませんでした。しかもサイマル放送というもので同時に萩テレビにも映っちゃうんですよ。やばいでしょ。

4月が初回だったのですが、マジでビビりました。パーソナリティの方と1対1で1時間喋るんです。お相手がプロなので、うまく番組にして頂けるのですが、初回はもうグダグダ。お知らせもまともに言えませ

んでした。こりやダメだということ、2回目の5月はお知らせの原稿と、チラシを貼り付けたパネルを用意しました。これは名案だと思っていたのですが、原稿を読むことに必死になりすぎて、読み上げロボットのようになってしまい、キモかったです。3回目の7月はその反省点を活かして、お知らせもカチツとしすぎず、会話的な感じを心がけました。

ラジオはよく聞いているのですが、会話をするように本番で喋るって、難しいことなんだなあと実感。力が入ってしまい、自然に話すことができません。ガチガチになり、なんだかキモくなってしまうんです。でも少しずつ改善が見られるなあと自己評価しています。

残念ながら須佐では電波をひろって聞くことはできません。その代わりにエフエム萩HP上のポッドキャストにて、第3金曜日の放送終了後1週間は聞くことができますので気になった方は聞いてやってください。

「おおきに！」

スマホなんでも相談所
公式LINE始めました



お知らせを発信しています。登録をお願いします。登録方法等のご質問は山本まで。

職場体験突撃リポート

中学生が須佐地域内で

職場体験!



9月3日(火)と4日(水)の2日間、須佐中学校の2年生6名が須佐地域内で、それぞれ職場体験を行いました。須佐公民館では、中本ほなみさんが職場体験に来られました。中本さんは、公民館だよりの取材・編集や地域の住民とふれあひながら、調理実習の体験をしました。

ていました。キャンプ場の方に、どんなことを学んでほしいかと聞いてみると、「教えたこと以上に自分で考えて行動することを学んでほしい」と話しておられました。

午後は、1件予約が入っていたらしく、接客の仕方も体験されたということです。

一日目取材体験

○須佐エコロジーキャンプ場

キャンプ場では、男子2名がケビンのシート回収を体験していました。話を聞いてみると「思ったより仕事がつい…」「大変だった」と言っ



協力しながらシートを回収する男子生徒

○いかマルシェ・つわぶきの館

シエでは、女子生徒が店の奥で、干し魚をビニール袋へ入れる作業をしていました。



丁寧に干し魚を包む女子生徒

大変だったことを聞くと、「ビニールに入れた後、余分なところをきれいに折ってテープで止めるところが特に大変だった」と言っていました。一緒に作業をされていたお店の方は、「商品の管理や仕入れなどを覚えて

おいてほしい。こういう仕事もあるのだと知っておいてほしい」と答えてくださいました。また、地域外の人にも来られるので、PRすることなども学んでほしいと、午後は、つわぶきの館へ移動し、品出しなどの体験もされたようです。

その他、穂の花やジェラテリアフロトウーナでも職場体験があり、それぞれ接客など貴重な体験をされたようです。

二日目学級体験



二日目は、地域の方と調理実習の体験をしました。生き活き教室つどい会の方々や昼食を作り、一緒に食べました。その後、片付けを手伝ったり、レクリエーションを考えたりなど大変だと思いました。

午後は、公民館だよりの編集作業を行いました。文を考えるのが難しくて、苦戦していました。



漬けだれをお肉の袋へ入れる作業…

【感想・学んだこと】
私たちが知らないことが知れて、体験もできて、とてもうれしく思いました。

私は二日だけの体験でしたが、このようなことが毎日続くと思うと、公民館の仕事は本当に大変だなと、この体験で改めて感じる事ができました。

その他にも、人との関わり方や須佐に住んでいる人のために、楽しい活動をしていてことを知れて良かったと思います。

将来のためにも、公民館のような素敵な場所ではたらくという目的をもつていきたいと思いました。

今回は、地域住民との触れ合いや他地域から来られた方への接客などが多かった職場体験となりました。将来、社会人になっても人との関わりを大事にしてほしいと思います。今回、職場体験を引き受けてくださった職場の皆さん、ありがとうございました。



地域の方と防災ゲームを楽しむ中本さん

地域トピックス

敬老者へ 感謝のおもてなしを

須佐地域敬老会

9月16日(月)の敬老の日、須佐文化センターで須佐地区、弥富地区合同の敬老会が開催され、約60名が出席されました。

今年の須佐地域の敬老者(75歳以上)は、須佐地区・弥富地区併せて774名、そのうち、当日出席者が64名でした。出席者は、久しぶりに会った友達とおしゃべりしたり、仲良し同士で座って余興を見たりするなど、水分補給をしながら終始、楽しそうにっていました。



田中萩市長の祝辞を聞く参加者たち

こっぴななに育ちました!

陸稲(おかぼ)栽培日記⑤

先月号から一ヶ月が経ちました。9月17日(火)、陸稲の様子を見に行ってみると、まだ一部ですが穂が出ていました。後ひと月後くらいには収穫できるようです。どれだけ採れるか楽しみです。



立派に穂が実ってます



パパイヤも大きくなったよ

青パパイヤももうすぐ収穫!

第40回 須佐美術展開催!



★開催期間 11月1日(金)～5日(火)
9:00～16:00

★開催場所 須佐公民館・須佐文化センター

(人権教育啓発作品展)

人権教育啓発作品を展示します。人権に対する正しい理解を求め、明るく住みよい社会をめざし、皆さんの心に訴える力作を展示します。



令和5年度の作品から

(ふるさと愛護スケッチ展)

須佐地域のふるさとの自然と文化、文化財に対し、お互いが認識を新たにし、保護・活用を図り後世に伝えることや、郷土を愛する心を育むことの重要性を考え、歴史と文化、そして美しい自然に囲まれた須佐地域を大切にする心を培う事を目的に毎年開催しているものです。

今年も小・中学生を中心に多くの力作が展示されます。



令和5年度の作品から

地域で育つ、地域で育てる

須佐中学校校長 梅津麻由美

子どもの頃、学校からの帰り道で近所の方がよく「おかえり」と声をかけてくれました。小学生だった私は何と答えていいのかからず、ただもじもじしながら会釈をして通り過ぎていました。夏休みには、毎朝、ラジオ体操のカードを持って近くの集合場所に急ぎ、ラジオ体操を終えると、地域の方がカードに印鑑を押してくれました。

中学生のときはソフトテニス部に所属し、地域の熱心な指導者のもとで級友とともに日々、練習に励みました。週末は練習試合や大会への参加が多く、運動が苦手な私でも地域の指導者の手ほどきを受け、少しずつ技能が向上しました。部活動を通して「継続は力なり」ということを実感しました。

令和6年4月、母校の須佐中学校



に着任し、校長室に飾ってある写真の中に、旧須佐中学校の写真があるのを見つけました。古い木造校舎の写真を見ていると、自分が小学生や中学生だったときのことが懐かしく思い出されます。

子どものときには全く考えることもなかったけれど、成長過程の様々な場面で、地域の方が優しく温かくときには厳しく接してくださったことが記憶に残っています。地域の方の温かさは今も変わっていません。

須佐地域の会議に参加し、地域の方と話をします。学校行事や学校運営協議会などで保護者や地域の方の声に耳を傾けます。そんなときにいつも感じるのは、ふるさとへの愛着や子ども達に対する愛情の強さです。須佐の子ども達のために、それぞれの立場でできることに協力したいという熱い思いが伝わってきます。その

熱意は確実に子ども達に届いているはずです。須佐中学校の卒業生として、また、地域住民の一人として私も須佐ラブの精神を受け継ぎ、地域の子ども達のために力を尽くしたいと思います。加えて、中学校が取り組んでいる「魅力再発見プロジェクト」の活動を軸にし、中学生にも須佐ラブの精神を浸透させていきたいと思っています。

文部科学省のホームページには、「社会の宝」として子どもを育てよう！（報告）が掲載されています。その中に次の内容が書かれています。

子育ては、親だけが担うことだと思っていないませんか？

子どもを育てることは未来の日本を支える人材を育てることです。

社会の一人一人、みんなが主役なのです。

子どもの成長を社会全体で支え喜び合いましょう。

子ども達を取り巻く環境、家庭や地域、学校の状況は時代とともに大きく変化しています。私が所属していた須佐中学校のソフトテニス部は、令和2年度に部員の募集が停止されました。今年度、須佐中学校に設置してある部活動は陸上競技部と総合

文化部の2つだけです。部活動の地域移行に伴い、令和8年7月末に中学校の部活動は終了します。現在、小学5年生の子ども達が中学校に入學する夏には、陸上競技部も総合文化部も学校からなくなってしまうのです。これから子ども達の放課後の過ごし方が大きく変わっていきます。だから、学校と家庭、地域が連携して子ども達を見守り、サポートしていく体制が今後さらに地域に広がっていくことを願っています。

中学・高校時代には私の中でまだ須佐ラブの意識は芽生えていませんでした。どちらかと言えば都会への憧れの方が強く、年を重ねていくにつれ、須佐もなかなかいい所だと思うようになってきました。自然の美しさや人の温かさにはふれると、ふるさとへのよさを改めて思い知ります。俵万智さんの「サラダ記念日」の中に好きな短歌があります。

なんでもない会話なんでもない笑顔なんでもないからふるさとが好き

田舎の素朴さが私にとっても心地よく、須佐で育つてよかったと心から感じています。





旧須佐町中央公民館

公民館を離れても

公民館活動は続く・・・

企画課に行き、山口きらら博の担当となり、メインの須佐町の日も大盛会に終わり、少しずつこれを機に須佐町が動き出したような気がします。山口きらら博で感じた「元気」は、須佐町でも生かすよう上司からの進言もあり、丁度私は企画課の職員として、萩広域圏組合にも属し、他の町村の職員も同じような考えを持ち、何かやりたいとの意見も出ていました。当時広域圏組合に属していた職員も、前職場は公民館主事という方も多く、話ほとんどん拍子に進みました。

阿武郡でよさこいチームを・・・

山口きらら博で脚光を浴びた、よさこいイベントは、あの元気を地域に活かそうと、考えることはみんな同じでした。まず阿武郡の町村の公

民館に声をもちかけ参加者を募りました。そして、興味のある者は、須佐公民館に集合をかけたところ何と何と100人を超える人たちが結集し、指導は山口きらら博にも出演した萩市のチームをお願いし、阿武郡よさこい隊が発足しました。それから、新型コロナウイルスの制限があるまでの間、約20年間地域のイベントなどに参加する団体として活躍してきました。



きらら博開催場所前で阿武郡の仲間達と

萩広域市町村合併局に出向

平成14年全国的に市町村合併の機運が高まり、同年7月萩市を中心とする1市3町4村による、萩広域市町村合併協議会が立ち上がり、私は、合併協議会の職員として出向することになりました。そして、平成17年3月までの間、市町村間の議論が繰り返され、3月6日1市2町4村が合併し、新「萩市」が誕生しました。

萩広域圏市町村合併については、多くはこの場所で語りたくはありますが、ませんが、とにかく市町村及び個々の職員の駆け引きは、想像を絶するものがあり、損する者、得する者が見え見えの世界。市町村の見えない醜さを感じる状況の中で、新市が誕生したことを、私は忘れることはないでしょう。

新市誕生の傷跡なのか・・・？

少し時を巻き戻しますが、合併協が進む中、平成16年3月須佐町は一時合併協議会を離脱することになり、私の出向は解かれ須佐町に帰ることとなり、7月には経済課農産

係として勤務をし、合併後も、その仕事に専念していました。

新市では農政課に属し、平成18年4月人事異動に伴う、新旧職員の歓送迎会が萩市内で行われている途中、須佐総合事務所所長より経済課長へ連絡が入り、「明日一番に所長室に来てくれ」との連絡。

翌日、所長を訪ねると「済まんが来週から須佐公民館で勤務してくれ」とのこと、全く意味が分からない状態でしたが、理由を聞くと着任するはずの職員が須佐公民館への着任を辞退したとのこと。

着任を辞退するというような事が、実際できるのか、それが許せるのか、全く意味の分からない人事異動でした。

町村では、人事異動が気に入らないから行かないということが許される町村があったのか？市町村合併の混乱期には色々な場面で想像のつかないことが、よく起きました。

ともあれ、私は5年ぶりに須佐公民館に帰ってくることであり、また新たな一歩が始まることになりました。



つづく

ぶらぶらタムラ

まちの
あるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ「ぶらぶらタムラ」が、わが町を紹介します。今回も前回に引き続き「焼物の里」唐津集落について紹介します

珍しい連理の樹、縁結の木

下山後再び唐津川本流沿いに、山谷路方向を10分位進むと、左側の山林奥に、あの銘木「榊の木」2本が並んで立っている姿を見ることが出来ます。

現地は雑木が繁り、近づかなければ確認出来ない程ですが、たしかに両木の枝が、なんの細工もなく、つながっている不思議現象を見る事が出来ます。

人間2人が肩をならべて握手で連なっているかのごとく見えますし、これが自然に榊の木相互が生育する中で連理したものと知ることが出来ました。

この山林は民有林地で、何うところによると、この榊は、樹令100年位で、山林所有者が広島安芸の国、宮島の厳島神社から、樹令3年生位の



唐津連理の榊

榊の木を2本買い求め持ち帰って、現地に2本並べて植えた。それが年月を経てこのような「連理の榊」となったもので、人工的に手を加えたものではないとお話です。

加えて、この銘木は「縁結びの銘木」として地元では話題になっていたとされています。

唐津の地から

津和野方面への行商へ

この度唐津集落内のあれこれを見たり聞いたりして、探索致して参りましたが、その中から見えてきたことは、唐津集落は、焼物の里として広く栄え、その産物は、あの北前船での海運路はもとより、犬鳴

山の麓を通る山谷路と平山路を通って行商人の行き交う地の一つであったことを伺い知ることが出来ました。

他の文献でも見られるように、唐津の焼物を中心に、海産物、塩、米、そして生活物資を、この地を通して遠く津和野方面に持ち運び、物流の街道であったことを知ることが出来ました。広く知られざる物流の拠点地であったとも思われます。

この度の唐津探訪をスムーズに進めることが出来たのも、ご当地にお住いの唐津焼伝統工芸保持者「第15代伊藤三左衛門」をご襲名の現地案内者Iさんのご支援ご助言のお陰であり、ここに本紙をお借りして敬意と感謝を申し上げます。次第です。

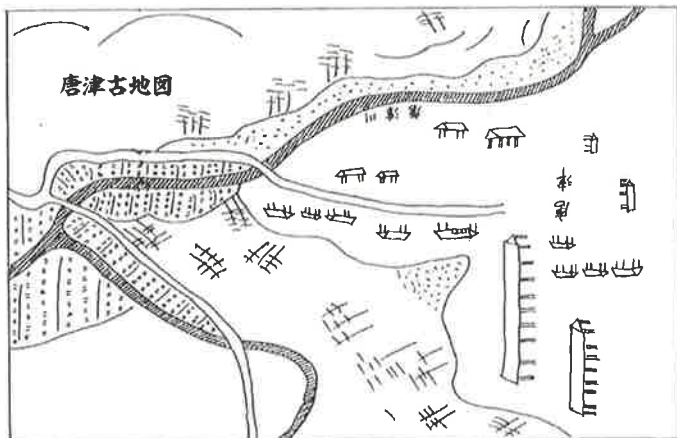
終りに



この集落も古き陶芸の里として、数100年の歴史と伝統を重ねられておりますが、時の流れの中で諸課題を抱え、そのうえ10数年前の大豪雨災害を被りながらも、中畑区の皆様全体を仲間にし、共に伝統を守り、技法の継承がなされていることの素晴らしさを広く地域に周知して

差し上げたかと思うところです。

昭和60年時には、唐津を含む中畑区の人口は、11世帯の37人で集落形成がなされていた、と記録に残されていますが、今時は、まさに、その半減となっています。



益田家古地図(唐津の部分図)須佐町誌より

しかし、現在地区を背負う皆様方が担い手となつて、唐津の里の火を消さないように守り永劫飛躍発展なりますことを祈りつつ集落を後にした次第です。

唐津地区散策の際には、皆様方のご協力頂きましたこと、この場をお借りし感謝申し上げます。

おわり



いけ
繁ちゃん

まちの駐在さん

Q：詐欺について、最新情報があれば教えてください。

「お答えします」 弥富駐在所：繁田京祐

現在、山口県内ではSNSを通じて、恋愛感情や親近感を抱かせ、投資などに誘導して、金銭をだまし取る詐欺（SNS型ロマンス詐欺）や、暗号金銭や株に投資すれば利益が得られるものと誤診させ、金銭をだまし取る詐欺（SNS型投資詐欺）が多発しています。

詐欺犯人は、LINE、Instagram、Facebook、X（旧Twitter）など、あらゆるSNSを利用して、「恋愛話」や「もうけ話」を持ち掛けてきます。

SNSを利用した詐欺に騙されないために、次の点に注意しましょう。

●SNS型ロマンス詐欺

- ・相手が外国人と名乗っている。
- ・「2人の将来のために貯金しよう」などと貯蓄を勧められた。
- ・「荷物を送ったから受取手数料を払って」、



「会いに行くから航空券代を払ってほしい」等と、個人名義の講座へ入金するよう要求された。

- ・出会い系サイトで知り合った相手から、ネットショップの開設を勧められた。

●SNS型投資詐欺

- ・投資に関する広告やURLをクリックした。
- ・SNS上で、投資に関するグループトークに招待された。
- ・SNSで知り合った相手からLINEなどに誘導され、もうけ話をされた。
- ・著名人や投資専門家から投資方法を説明された。
- ・投資用アプリのダウンロードを勧められた。

こうした詐欺の被害にあわないために、インターネット上の人間関係を安易に信用することなく、SNSでお金が出たら詐欺を疑い、家族や警察にすぐに相談しましょう。

あの頃の須佐は

40年前の須佐を振り返る…「広報すさ」

このコーナーは、元気だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元気な姿を届けたいと思います。今回は「敬老会」にあわせ、こんな記事を見つけました。

お年寄りを大切に・敬老の日

老人福祉週間

《ドライバーの方へ》

お年寄りの心理や特性を知ろう

お年寄りの心理を知るー交通事故を防ぐ第一歩
お年寄り特有の心理と行動特性について

（心理その1）変化する交通状況に対応できないケースが目立つ

お年寄りは、交通ルールをはじめとする「交通環境」の変化に付いていけないことがあります。

（心理その2）体力や運動機能の衰えにもかかわらず、いつまでも若い気持ちでいることが多い

年を取ると、当然、体力をはじめ運動機能や間隔機能が低下します。しかし、本人はまだまだ若いつもりでいる

ため、年齢とのギャップで事故を招きやすい。

（心理その3）ときに、身勝手と思えるような行動をとることがある

基本的な交通ルールを知っているお年寄りでも、身勝手としか思えない行動をとることがあります。例えば、信号の変わり目で横断を始めたり、近道をして横断してはいけないところを渡ったりしてしまうような事です。

ドライバーの皆さん、お年寄り特有の心理や行動特性を理解し、お年寄りを交通事故から守りましょう。



記事は、昭和58年9月15日発行の「広報すさ」から

生涯学習作品コーナー

【俳句】

せみしぐれ雨かと紛い窓を閉め

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

さらさらと水に放てるソーメンを

さつと捌けば喉越しうまし

(青葉台) 田村雅利



オリンピック日本選手の躍進に

勇気と努力の金の数々

(山根丁東) ゆめはるか

もう9月暑い暑いでいつの間に

暑さ寒さも彼岸まで

やっと雨うれしそうな木や草も

秋への備えに忙しいだろう

夏の朝道草多い犬散歩

猛暑の今年は引きずり帰る

空蟬に暑い暑いよかき氷

あげたいほどの今年の暑さ

ごはんあとへそ天昼寝台所

何を夢見るかわいいうろず



老人クラブ 美男美女会

須佐の偉人伝 大塚均

91

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚 均 (1911-1998)

まつりシリーズ

飛騨高山まつり切手

江戸時代の面影を残す伝統行事として受け継がれてきた高山祭は、4月に開催される春の高山祭(山王祭)と10月に開催される秋の高山祭(八幡祭)2つの祭りの総称です。この行事で巡行する屋台は、昭和35年6月9日に「高山祭屋台」として重要有形民俗文化財に指定。

昭和39年7月15日まつりシリーズとして、10円切手が発行された。大塚均53歳時の作品です。



2024		10月 地域カレンダー				
		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 ☺=生き生き教室 学=学校・保育園行事 🏆=スポーツ関係 保セ=保健センター 子=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド				
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1 	2 ☺つどい会 9:30	3	4	5
6 ■そばの花まつり (弥富)9:30	7 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポンクラブ 13:30	8 須パッチサークル 9:30	9 ☺歩こう会 8:45 須色えんぴつ画 13:30 学合同陸上記録会	10 学須佐保育園遠足 学育英小学校参観日	11 ☺手芸クラブ 9:30 弥富一般成人学級 10:00 ☺囲碁・将棋 13:30	12
13	14 スポーツの日 	15 須スマホ教室 9:00 ☺エコクラブ 9:30	16 弥放課後子ども教室 15:30	17 ☺生き生き体操 8:45 須あおば勉強室 8:30	18 	19 学須佐中文化祭
20 須佐地区体育大会 (育英小グラウンド) 9:00 弥子ども会 8:30 家庭の日	21 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポンクラブ 13:30	22 須パッチサークル 9:30	23 須色えんぴつ画 9:30 弥グラウンドゴルフを楽しむ会 9:30 ☺音楽療法 13:30	24	25 ☺手芸クラブ 9:30 ☺囲碁・将棋クラブ 13:30 ■幕末体験育英塾	26
27 	28 弥料理教室 9:30 ☺エコクラブ 9:30 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポン 13:30	29 ■心配ごと相談 (弥富)	30 ■須佐美術展準備 (須公) 13:00	31 	★読書週間 期間：10/27～11/9 	

須佐地区体育大会

日時 10月20日(日) 午前9時開会

場所 育英小学校グラウンド

皆さん、一緒に楽しみましょう！

伝言板

●弥富一般成人学級
「マイナンバーカードでできること」

○とき 10月11日(金) 午前10時から

○ところ 弥富交流促進センター
萩市市民課 職員

○申込み 10月9日(水)までに弥富公民館☎2044へ

●須佐あおば勉強室 地域探訪③
「弥富地区をもっと知ろう！」

○とき 10月17日(木)

○ところ 須佐公民館8時半出発
弥富地区

※詳細は、回覧チラシに記載

毎月第3日曜日は「家庭の日」
今月は『20日』です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R6.8月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	939戸	1,676人	(△2人)
弥富	217戸	401人	(5人)
合計	1,156戸	2,077人	(3人)
昨年比	世帯数△20人	人数△58人	

編集後記

9/13日の朝、窓のカーテンを開けて高山を見ると、頂上の上に傘のような雲が一つ見えまして。それは、しばらくすると2つに見え、また一つになりました。調べるとこの雲は「傘雲」という雲だそうです。時々、こんなふうに見えたら、面白い風景が見られますよ。皆さんも探してみてはいかがですか。

E・O